



国立がん研究センター
先端医療開発センター
National Cancer Center
Exploratory Oncology Research & Clinical Trial Center



国立がん研究センター
橋渡し研究推進センター
National Cancer Center
Center for Promotion of Translational Research

EPOC/CPOTセミナー

Protein Engineering

タンパク質工学による創薬と難治癌の免疫療法の開発
3回シリーズ

第1回

2024 8/23 金
17:00 - 18:00



今すぐ登録



石原 純 @インペリアルカレッジロンドン

Dr. Jun Ishihara

国立がん研究センター 先端医療開発センター 共通研究開発分野

Lecturer, Department of Bioengineering Imperial College London

腫瘍の

細胞外マトリックスを狙って 薬物療法を送達する

癌免疫療法は多くの癌種に用いられており、世界中で多くの臨床試験が行われている。最近
は抗体を含むタンパク質もいろいろなドメインを融合させたタンパク質が開発されている。
IL-15スーパーアゴニストFc融合タンパク質が膀胱癌に承認されたことや、二重特異性抗体
が肺がん承認されたことで、さらにタンパク質工学の創薬への注目が高まっている。

今までは、遺伝子発現を元にした癌特異的な分子のスクリーニングによる創薬が中心であっ
たが、無限に機能がデザイン可能な人工タンパク質や化学修飾タンパク質が臨床試験の主役
になり、創造的なアカデミアでの研究、発明が治療薬になる可能性が高まっている。

私はDrug delivery systemで免疫療法を癌に届けることを主軸に研究を行ってきた。特に
細胞外マトリックスは固形癌に必ず存在するため、有望なターゲットである。

今回のセミナーでは、タンパク工学による癌創薬の技術を私の研究を絡めて紹介したい。

問合せ：EPOC/CPOTセミナー事務局

cpot_seminar@ml.res.ncc.go.jp

レクチャー形式セミナー